隣はだあれ

織田慶次

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

隣はだあれ

【Nコード】

N7436L

【作者名】

織田慶次

【あらすじ】

中学生になった。新しい友達ができた、しかしそのひとは

中学生になった。仲良しの友達がいなくなってしまうけどこれからは新しい奴とも仲良くしたいと思っていた。

教室についた。もう結構な人がいる。席はもう決まっていた。一番後ろだ。隣の人はなんかとても暗そうだ。なんか一緒に居たくない。いや、そうじゃだめた、みんなと仲良くして暮らすんだ。だから話かけることにした。

「あの、こんにちは」隣の男はこくりと頷くだけだった。なんだ、こいつ愛想わりいなあと思ってしまった。数日間、話かけていたらしいろと話してくれた。面白い話から怖い話まで、いつの間にかあいつとしか喋らなくなってしまうていた。そしてある日、あまりしゃべらなくなってしまった、友達が「ねえ、誰といつもしゃべってるよ?」と言ってきた。

「え、?ほら、隣にいるじゃん」

「いやっ誰もいないよ」そんなわけないと思隣を見ると何もいない。あいつが誰なのか気になる。放課後、先生に頼み昔の卒業アルバムを見せてもらった。そこには自分が見たあいつだった。先生がそのこの説明してくれた。

「そいつは、いじめられて、自殺してしまった」先生はそう言った。もしかしてあの子は友達になりたかったのだろうか。そう考えると涙が出た。もう・・・友達だよ。

(後書き)

最後に感動ができるようにしたかった。
見てくれた人に感謝です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7436/>

隣はだあれ

2010年10月28日05時31分発行